

# 木材加工

木工事を行っている岐阜県関市の作業場において、木材の加工や墨付けが着々と進んでいます。

今回はその一部を紹介します。

貫の加工(18.2cm×45.5cm ※断面の寸法。以下同じ。)



貫の墨付け

切断したり欠いだりする箇所が分かるよう、材料に墨で書いているところです。



冠木の加工(75.8cm×88.9cm)

冠木に取り付ける柱の位置等を確認しています。

それにしてもこの冠木、大きいですね。



敷梁の加工(直径85cm)



### 敷梁の加工(直径85cm)

敷梁は、長さ20m以上となるため、3本の材料を繋ぎます。

これは、繋ぎ目となる継手を「台持ち継ぎ」という形状に加工しているところです。



### 柱の加工(66.7cm×66.7cm)



柱の加工(66.7cm×66.7cm)

貫穴を彫っています。



加工した木材は、6月には現場に運び込まれてきます。

この木材の大きさ、見た人は皆、驚くと思います。お楽しみに。

